

第77回審議会（H29.8.10）の主な質問・意見に対する回答及び対応方針

質疑・意見	質問・意見に対する回答	結果（対応）
<p>1. 人口等基礎資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺市町村へ人口が流出の理由を捉えているか。それらをしっかりと分析することが重要。 市内13校区が10年、20年後の人口推計や具体のまちづくりを市民に示し、意見を言っていたかどうか資料づくりが必要。何もしなければもっと人口が減るということを審議会や市民説明会でも理解していただくきっかけにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 理由の分析はできていないが、総合計画等にも関連するため、関係課と一緒に分析を進めていきたい。 次回の審議会までに検討してお示ししたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内では北栄町、湯梨浜町への転出が目立つが、買い物、通勤・通学など、中心市街地まで市内と同水準の利便性、地価、固定資産税率、保育料等も要因と推測される。 人口推計については、全市的なものしか推計されていないが、地区ごとの人口動態については現在までのものをマスタープランに記載。 地方創生の主なテーマである人口対策について、「まち・ひと・しごと総合戦略」で計画・推進し、20年後の人口を目標値にするため、 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の合計特殊出生率の上昇 ⇒ 子育て世代の負担軽減など安心した子育て環境の提供 ② 社会減の抑制 ⇒ 県内外からの移住者（移動率の改善）の受入れを主な取組みのポイントとする。 昼夜人口動態をマスタープランに記載。
<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学など、昼間の活動という視点でのデータが欲しい。 <p>2. 整備方針の記載について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再度課題を整理して、関連付けできるものは記載します。 全体構想の整備方針図の記載が不十分などところがあるため、記載していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画では課題、対応、効果を示すことが重要である。幹線道路整備方針では、「人と物の移動の効率化により、企業立地、観光振興、移住定住促進などを図るため」、山陰自動車や北条湯原道路の整備を促進します。」など、課題と関連づけした記載が必要。 下水道整備方針図に整備方針にある方針をいくつか記入していただきたい。市街地の浸水への対応など、もう少し踏み込んで書いたほうが良い。 <p>3. 整備方針に対する個別意見について</p>
<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市外の人に、標識が適切などところに適切な内容で示されているのか確認し、適切に直してほしい。 市民と協力して、移住定住を図ることが大切であり、計画の中に入れて良い。若者の定住はこれからの倉吉を担う重要な人であり、倉吉で頑張っていくためにはどうすればよいかを考えることが重要。 公共交通ネットワークについて、有益に運営側も利用者側もちゃんと整備されたシステムづくりが必要。バス路線の再検討も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的記載はしないまでも標識整備を推進する基本的な方向性は記載していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通体系の整備方針に案内標識の整備をマスタープランに記載。（P4-13） 市街地整備方針に「移住・定住の推進」を記載。（P4-31） ※具体的な方策については、関係課と連携して取り組む。 公共交通ネットワークやバス路線の具体的な検討については関連する計画（第2期鳥取県中部地域公共交通総合連携計画）があるので、それら計画の中で取り組む。